

## 第27回関西高校模擬国連大会実施要項

### 1, 模擬国連について

世界では、毎年さまざまな場所で模擬国連が開催され、概ね中学生から大学生まで何万人という若者が参加しています。この関西高校模擬国連大会はそれらの中の一つとして1991年より京都外大西高等学校国際文化コースが中心となって開催し、高校生らの英語学習の発表の場ともなってきました。

模擬国連は、参加者が実際の国際会議のシミュレーション（模擬）を行うことにより、国際連合や国際政治のシステムについて、また国際問題や国家の対外政策決定力がいかに働くかを学習する目的で実施されます。一般的に模擬国連では、国際連合の総会・各委員会・安全保障理事会の諸活動をシミュレーションします。参加する生徒は国際連合加盟国代表の役を演じ、国際連合の議題から協議事項を選び討論します。実際に行われる国際連合の議事進行手続きに則り、それぞれの代表が担当する国の利益を守りながら世界の諸問題解決の交渉を行います。模擬国連の準備作業を行いながら、参加者は国際問題や国際組織の複雑さをよりよく理解できるだけでなく、国際連合に関する知識も獲得できます。模擬国連で代表する国の立場や政策目標を設定できるようになるには、参加者が代表を務める国の歴史、文化、外交政策などを調査・研究しなければなりません。会議のために準備をし、また参加することで、討論の方法や交渉技術、非公式協議の方法、コンセンサス（総意）の作り方、説得力のある文章の書き方、あるいは公の場での発表方法を学ぶことができます。

この関西高校模擬国連大会という機会を通じて、参加する生徒の皆さんが単に英語の運用能力を向上させるだけでなく、何かしら地球市民として大切なことに“気づく”学習の場であり続けてほしいと願っています。

### 2, 主催 関西高校模擬国連大会実行委員会

委員長…北村 聡（京都外大西高等学校校長）

副委員長…アンガス・マグレガー（京都外大西高等学校教員）

委員…参加校引率教員

### 3, 協賛 公益財団法人 国立京都国際会館

### 4, 後援 裏千家、大阪・神戸米国総領事館、表千家、学校法人京都外国語大学、京都市教育委員会、京都新聞、京都府教育委員会、京都ユネスコ協会、日本国際連合協会京都本部、模擬国連大阪実行委員会

### 5, 開催日 平成29年6月20日（火）～22日（木）

### 6, 会場 国立京都国際会館

[住所]京都市左京区岩倉大鷲町422番地

[電話]075-705-1234（代表）

### 7, 来賓 浄土真宗本願寺派本願寺（西本願寺）前門、日本国際連合協会京都本部本部長 大谷 光真 氏 大阪・神戸米国総領事館領事 アレン・グリーンバーグ 氏 学校法人京都外国語大学理事 中村 順一 氏 京都外国語大学副学長・国際部長、日本国際連合協会京都本部理事長 熊谷 俊樹 氏 学校法人京都外国語大学法人本部長 横山 卓也 氏 日本国際連合協会京都本部事務局長 和田 和子 氏

### 8, 参加生徒数 262名

- 9, 参加校 岡山学芸館高等学校、大阪YMC A国際専門学校、大谷中学校・高等学校、関西外語専門学校、関西創価高等学校、京都外大西高等学校、関西学院千里国際高等部、金光大阪中学校・高等学校、西大和学園高等学校、立命館高等学校、立命館宇治高等学校

10, 議題 Reducing inequality through Sustainable Development (持続可能な開発を通じて不平等を減らす)

1997年の国連総会では、2000年を「平和の文化国際年」と定め、また1998年の国連総会で、新たな千年期(ミレニアム)のはじまりである21世紀の最初の10年間(2001~2010)を「世界の子どものための平和と非暴力のための10年」と決めました。そして「平和の文化宣言」が世界各国の支持を得て1999年9月13日に国連総会で採択されました。これら2000年の「ミレニアム宣言」は、国際協力の大きな転換点として開発への取組みを鼓舞し、全世界で数億人の生活を向上させてきました。それから10年を経て、世界の指導者は再びニューヨークの国連本部に参集し、進捗状況の審査、障壁とギャップの検証を行うとともに、2015年までに8つのミレニアム開発目標(MDGs)を達成するための具体的な戦略と行動に合意しました。

開発アジェンダの節目の年として「ミレニアム開発目標(MDGs)」の達成期限が迫るなか、2015年の9月25日~27日、ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える加盟国首脳に参加のもと、その成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。アジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標をかかげました。この目標が、ミレニアム開発目標(MDGs)の後継であり、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。国連に加盟するすべての国は、全会一致で採択したアジェンダをもとに、2015年から2030年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くします。

本大会の参加者である生徒たちは、SDGsに焦点を当て、主に英語を用いてプレゼンテーションやディベート、交渉などのスキルを駆使し、教育や労働、町づくり等に関連する問題を考えます。

11, 時程 (予定)

○6月20日(火)	○6月21日(水)	○6月22日(木)
9:30-10:30 開会式	9:30-12:30 第1回総会	9:30-12:30 第3回総会
10:45-12:30 ブロック会議	12:30-13:30 昼食	12:30-13:30 昼食
12:30-13:30 昼食	13:30-16:30 第2回総会	13:30-16:30 第4回総会
13:30-18:30 ブロック会議	17:00-18:30 参加者懇親会	16:45-17:15 閉会式

12, 総会の議題

**第1回総会** 「質の高い教育をみんなに」(SDGs 4)

“全ての人への衡平な質の高い教育と生涯学習の機会を提供する” ことについて話し合います。

**第2回総会** 「働きがいも経済成長も」(SDGs 8)

“みんなが参加できる持続可能な経済成長を促進し、全ての人々が職をもち、働きがいのある人間らしい仕事ができるようにする” ことについて話し合います。

**第3回総会** 「住み続けられるまちづくりを」(SDGs 11)

“まちや人びとが住んでいるところを、だれもが受け入れられ、安全で、災害に強く、持続可能な場所にする” ことについて話し合います。

**第4回総会** 「緊急動議」

参加者は、“不平等を減らす” ことに関する時事問題が議題として与えられます。議題は、2日目午後の総会が終了するまで発表されず、参加者の生徒たちは、それまで授業や会議で培ってきたスキル・知識を活用して、各国の代表として問題解決を図る努力をしなければなりません。